

新型コロナウイルス感染症重症患者向け移送用車両を 東京品川病院へ納車

トヨタ車体は、トヨタグループで推進する「ココロハコブプロジェクト*」の一つとして、6月12日に新型コロナウイルス感染症重症患者向けの移送用車両を、トヨタ自動車を通じて東京品川病院に納車いたしました。

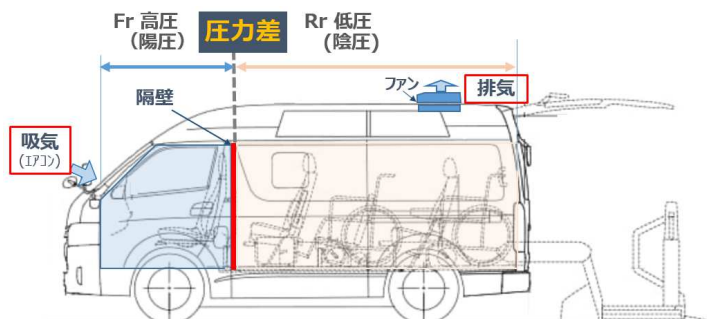
当日は、副院長を始め病院関係者約10名の方に車両の取り扱いや機能の説明を行いました。関係者からは、リフトやインターホンの装備を評価いただくとともに、「季節柄エアコン無しでの患者搬送はむずかしく、後室にエアコン装備があるのはありがたい」などの声もいただきました。

車両の開発・架装にあたっては、トヨタ車体の特装・福祉事業で培った架装技術やノウハウを活用し、関連会社の東海特装車で架装しました。

(4月30日 昭和大学病院、5月22日 日本医科大学付属病院への納車分を合わせて今回で3台目)



東京品川病院関係者に移送用車両の取り扱いについて説明



車両前後の圧力差で飛沫感染を防止

*「ココロハコブプロジェクト」とは、東日本大震災の被災地を支援するために、全国から「心を運ぶ」という気持ちを込めて、トヨタ自動車、トヨタ販売店及びその従業員が、継続的かつ長期的に実施してきた支援活動の総称です。

今回は、新型コロナウイルス感染症で闘病中の方、日夜奮闘されている医療従事者・政府・自治体関係者の皆様に対して、何か貢献できないかとの思いから、トヨタグループが力を合わせて取り組む支援活動の総称を「ココロハコブプロジェクト」といたしました。

ココロハコブ
プロジェクト

